

「学生の授業評価」についての教員アンケート
集計結果報告（2011年度 前期分）

2012年 1月

実践女子短期大学自己評価委員会

はじめに

短期大学部長 萩野 敏

本学では毎年前後期それぞれの終了時にすべての開講科目で学生による授業評価を「授業に関するアンケート」として実施し、各教員にはその集計結果を授業ごとに通知しています。本冊子、『「学生の授業評価」についての教員アンケート集計結果報告』は、この学生の授業評価を各教員がどのように受け止めているのかをアンケート形式で調査し、その結果を自己評価委員会が期ごとの報告書として毎年2回まとめているものです。今回のもので通算15号目になるのですが、今回は委員会のご努力により例年よりもやや早い時期での完成となりました。委員長をはじめ、自己評価委員会の委員の方々のご尽力に感謝の意を表したいと思います。

「教員アンケート」には、選択肢から回答を選ぶ項目と自由記述を行う項目とがあります。前者に関しては、集計した数値を表やグラフにして前年同期の結果と比較することができるようにしています。後者に関しては、原則として寄せられた声をそのまま記載していますが、文意を損ねない範囲での字句修正などを行っている場合もあります。「授業に関するアンケート」と「教員アンケート」の用紙は写しを巻末に載せています。

これまでと同様に、今回のアンケート調査でも多くの教員から回答を得ることができました。ご協力をいただいたことに深く感謝いたします。集計結果や自由記述での率直なご意見などを目にする、何かしらの共感を覚えたり刺激を受けたりすることも多いかと思えます。本冊子がさまざまな形で活用され、各授業の改善と向上につながることを心より願っています。

2011 年度前期「学生による授業評価」に関する教員アンケートについて

自己評価委員会委員長 松尾昇治

2011 年度前期の『教員アンケート集計結果報告書』が完成しましたのでお届けします。

先生方にはお忙しいなかをアンケートにご協力いただき誠にありがとうございました。今回のアンケートにつきましては、2010 年度前期を多少下回りましたが、合計 59 通の回答が寄せられましたことを感謝いたします。

集計結果のグラフを見ますと、「学生の評価を全体としてどう受け止めましたか」という問いに対して、「十分に納得できた」(37.3%)と「だいたい納得できた」(54.2%)との回答を合わせますと 91.5%となります。2010 年度前期の数値は 95.5%ですから、今回は 4 ポイント下回ったこととなります。学生による授業評価アンケートの内容や実施方法についての改善が必要な時期に来ていると考えられます。

学生の評価結果を踏まえて、授業の改善を図りたい点や学生に対する要望につきましては、グラフ集計結果と合わせて自由記述もご覧ください。

各設問内にあります自由記述欄に関しても、例年同様多くのご意見やご感想をいただきました。授業評価に対する各先生のコメントをお読みいただき、学生の状況を把握するとともに授業の改善などの参考にしていただきたいと思います。

なお、編集にあたりましては、「特になし」などの記述は無回答といたしました。繰り返しを避けるため、同じ趣旨のご意見も一つにまとめました。本委員会として、今回も読みやすさを考慮するとともに、回答者名や科目が特定されることを避けるために、字句や表現の修正を行っていますことをご了解いただきたいと思います。

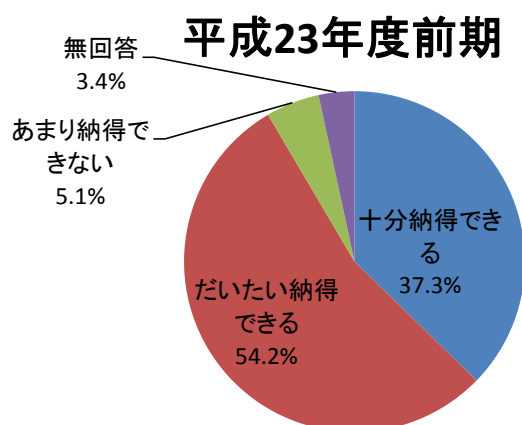
設問 5 (授業改善に関する学校への要望) および設問 6 (学生アンケートの内容、実施方法) においても、多くのご要望をいただいております。本委員会において内容を精査し、ご要望に対する回答を本委員会と担当事務部で作成し、「教員アンケートによるご意見」としてまとめました。貴重なご意見をいただきありがとうございました。今後、改善にむけて検討していきたいと考えておりますが、回答内容をご覧ください、短大の置かれている状況もご理解いただきたいと思います。

最後になりますが、この報告書が教員の皆様に活用され、授業の改善および向上に資することができますことを願っております。

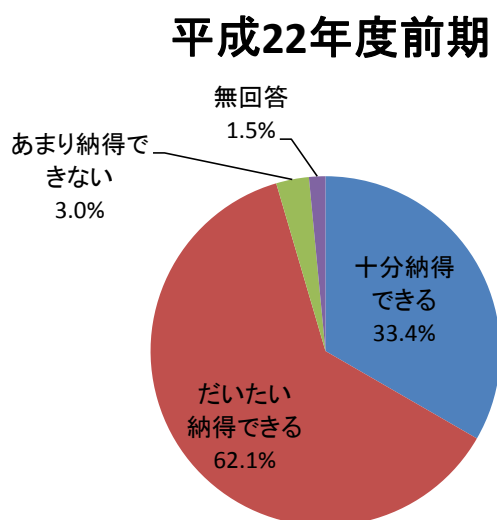
I. 設問 1、3、4に関する集計結果

— 平成23年度前期と平成22年度前期の比較 —

設問 1. 学生の評価を全体としてどう受けとめましたか。(一つ選んでください)



選択肢	回答(人)	割合
十分納得できる	22	37.3%
だいたい納得できる	32	54.2%
あまり納得できない	3	5.1%
無回答	2	3.4%
合計	59	100.0%



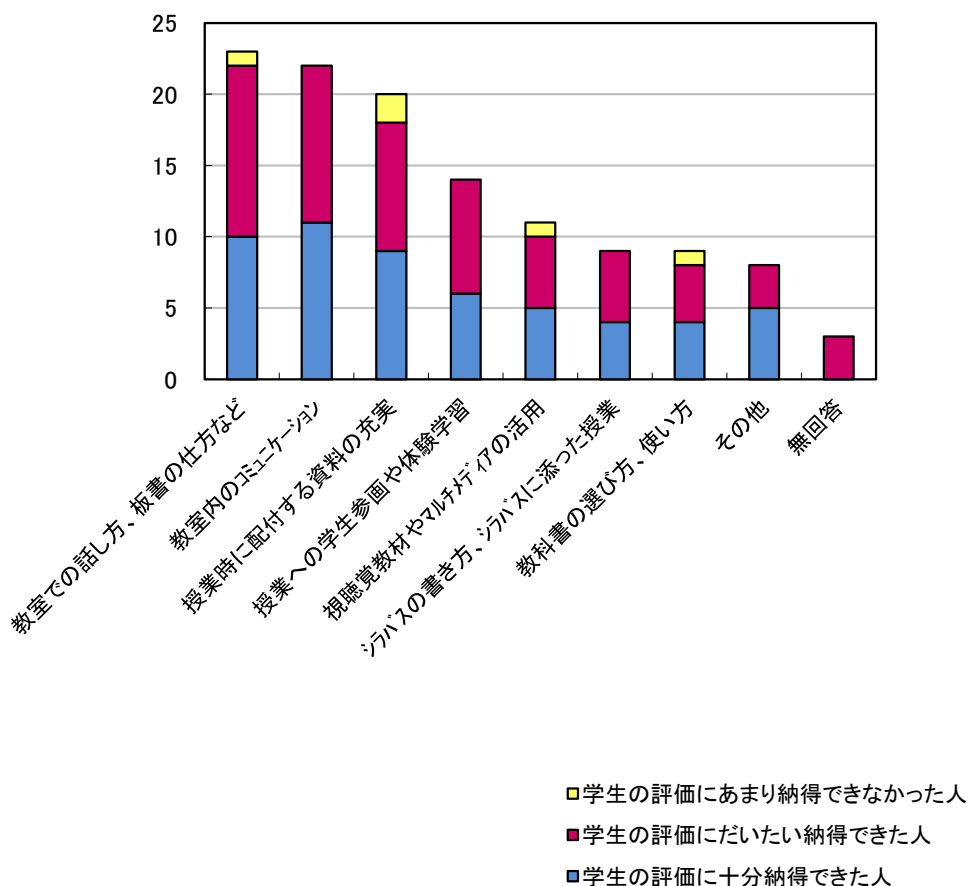
選択肢	回答(人)	割合
十分納得できる	22	33.4%
だいたい納得できる	41	62.1%
あまり納得できない	2	3.0%
無回答	1	1.5%
合計	66	100.0%

次の設問3および設問4は、学生の評価に「十分納得できた人」「だいたい納得できた人」「あまり納得できなかった人」の3群の先生方が、どのように授業改善を図りたいと考えているのか、学生に対してどのような要望をお持ちかを、それぞれ棒グラフにしました。

設問3-1 学生の評価結果を踏まえて、今後の授業で特に改善を図りたい点はどのようなことですか。（複数回答可）

平成23年度 前期

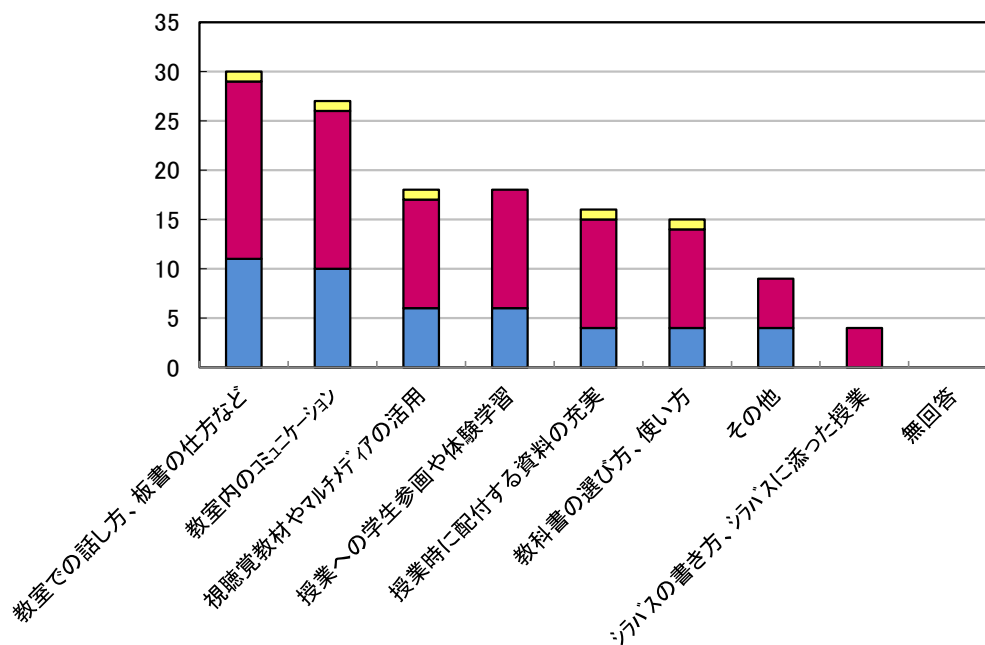
(人)



授業で改善を図りたい点	学生の評価に十分納得できた人	学生の評価にだいたい納得できた人	学生の評価にあまり納得できなかった人	合計 (人)
教室での話し方、板書の仕方など	10	12	1	23
教室内のコミュニケーション	11	11	0	22
授業時に配付する資料の充実	9	9	2	20
授業への学生参画や体験学習	6	8	0	14
視聴覚教材やマルチメディアの活用	5	5	1	11
その他	5	3	0	8
シラバスの書き方、シラバスに添った授業	4	5	0	9
教科書の選び方、使い方	4	4	1	9
無回答	0	3	0	3
合計	54	60	5	119

平成22年度 前期

(人)



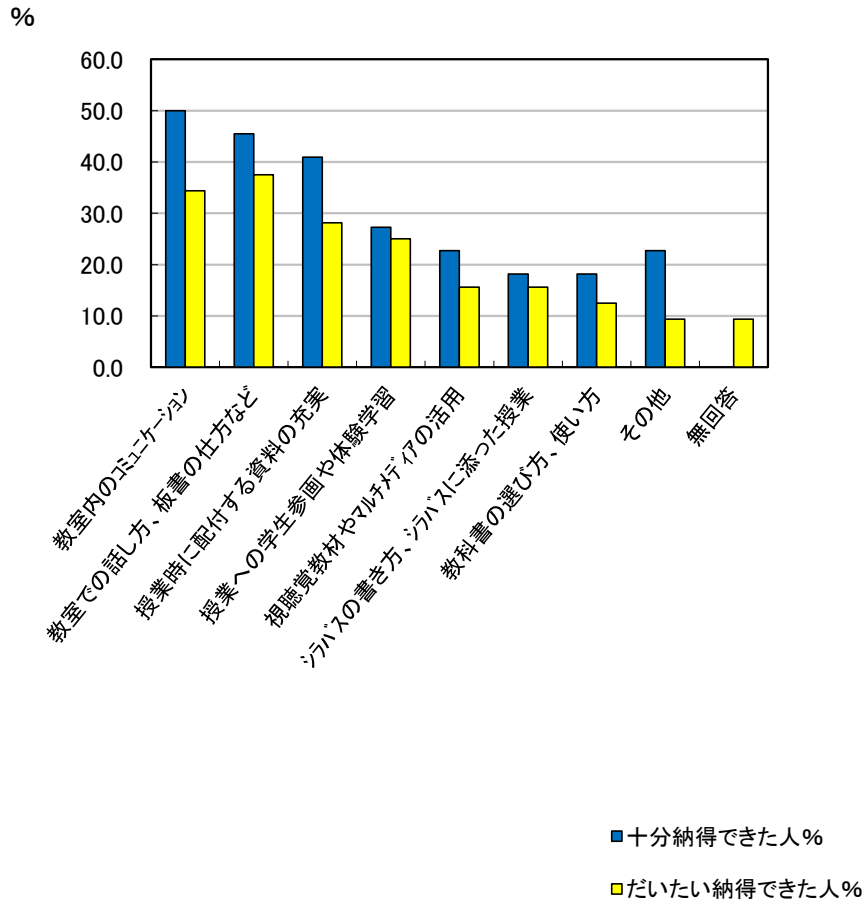
- 学生の評価にあまり納得できなかった人
- 学生の評価にだいたい納得できた人
- 学生の評価に十分納得できた人

授業で改善を図りたい点	学生の評価に十分納得できた人	学生の評価にだいたい納得できた人	学生の評価にあまり納得できなかった人	合計 (人)
教室での話し方、板書の仕方など	11	18	1	30
教室内のコミュニケーション	10	16	1	27
視聴覚教材やマルチメディアの活用	6	11	1	18
授業への学生参画や体験学習	6	12	0	18
授業時に配付する資料の充実	4	11	1	16
教科書の選び方、使い方	4	10	1	15
その他	4	5	0	9
シラバスの書き方、シラバスに添った授業	0	4	0	4
無回答	0	0	0	0
合計	45	87	5	137

学生の評価に「十分納得できた人」と「だいたい納得できた人」の割合の差について

設問3-2 学生の評価結果を踏まえて、今後の授業で特に改善を図りたい点はどのようなことですか。（複数回答可）

平成23年度 前期



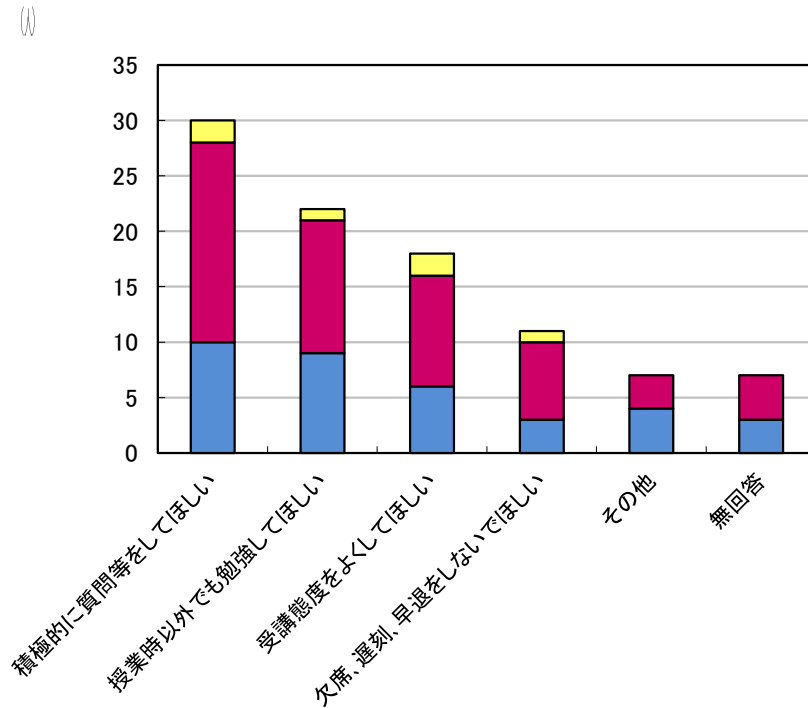
授業で改善を図りたい点	十分納得できた人 (22人)		だいたい納得できた人 (32人)		合計 (人)
	人	%	人	%	
教室での話し方、板書の仕方など	10	45.5	12	37.5	22
教室内のコミュニケーション	11	50.0	11	34.4	22
授業時に配付する資料の充実	9	40.9	9	28.1	18
授業への学生参画や体験学習	6	27.3	8	25.0	14
視聴覚教材やマルチメディアの活用	5	22.7	5	15.6	10
その他	5	22.7	3	9.4	8
シラバスの書き方、シラバスに添った授業	4	18.2	5	15.6	9
教科書の選び方、使い方	4	18.2	4	12.5	8
無回答	0	0.0	3	9.4	3

※ 無回答を除く1人当たり回答件数 2.5件 ↑ 1.8件 ↓

注：「十分納得できた人」22人に対する割合 「だいたい納得できた人」32人に対する割合

設問 4-1 この評価結果を見て、学生に対する要望としてはどのようなことがありますか。
(複数回答可)

平成23年度 前期

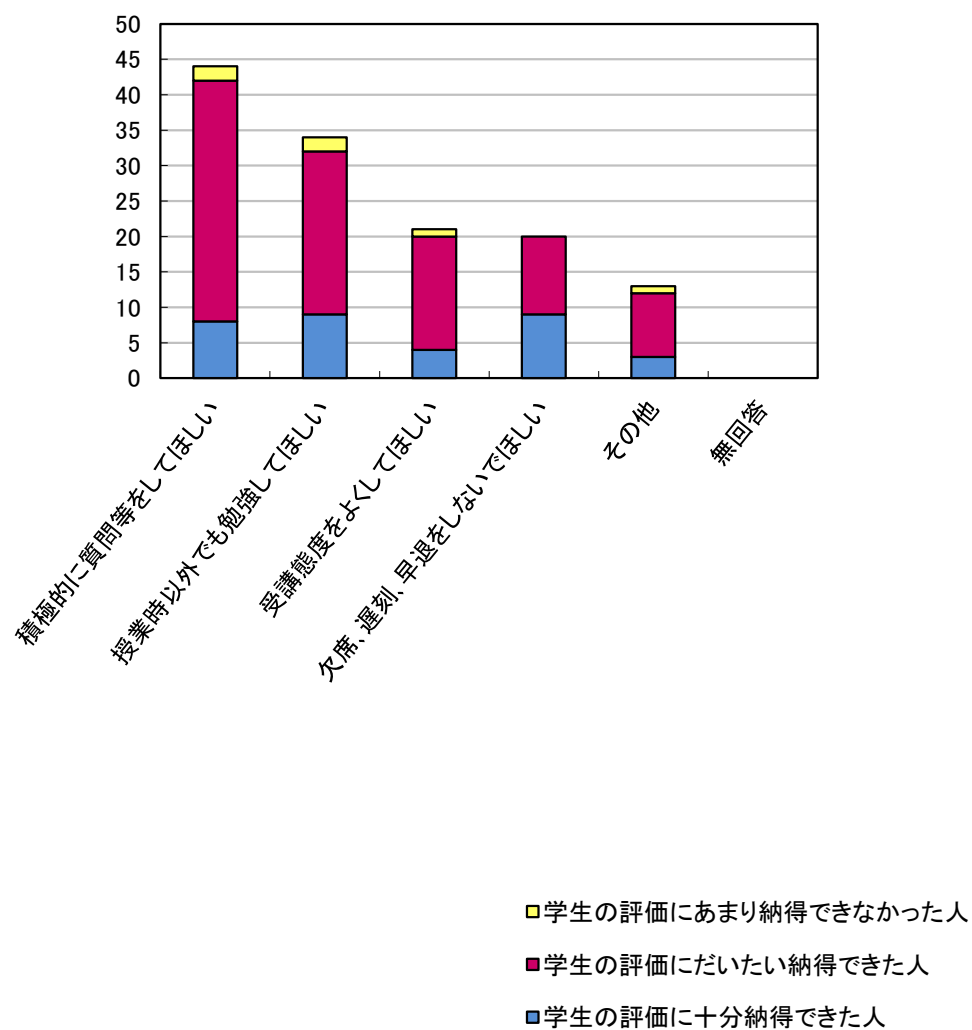


- 学生の評価にあまり納得できなかった人
- 学生の評価にだいたい納得できた人
- 学生の評価に十分納得できた人

学生に対する要望	学生の評価に十分納得できた人	学生の評価にだいたい納得できた人	学生の評価にあまり納得できなかった人	合計 (人)
積極的に質問等をしてほしい	10	18	2	30
授業時以外でも勉強してほしい	9	12	1	22
欠席、遅刻、早退をしないでほしい	3	7	1	11
受講態度をよくしてほしい	6	10	2	18
その他	4	3	0	7
無回答	3	4	0	7
合計	35	54	6	95

平成22年度 前期

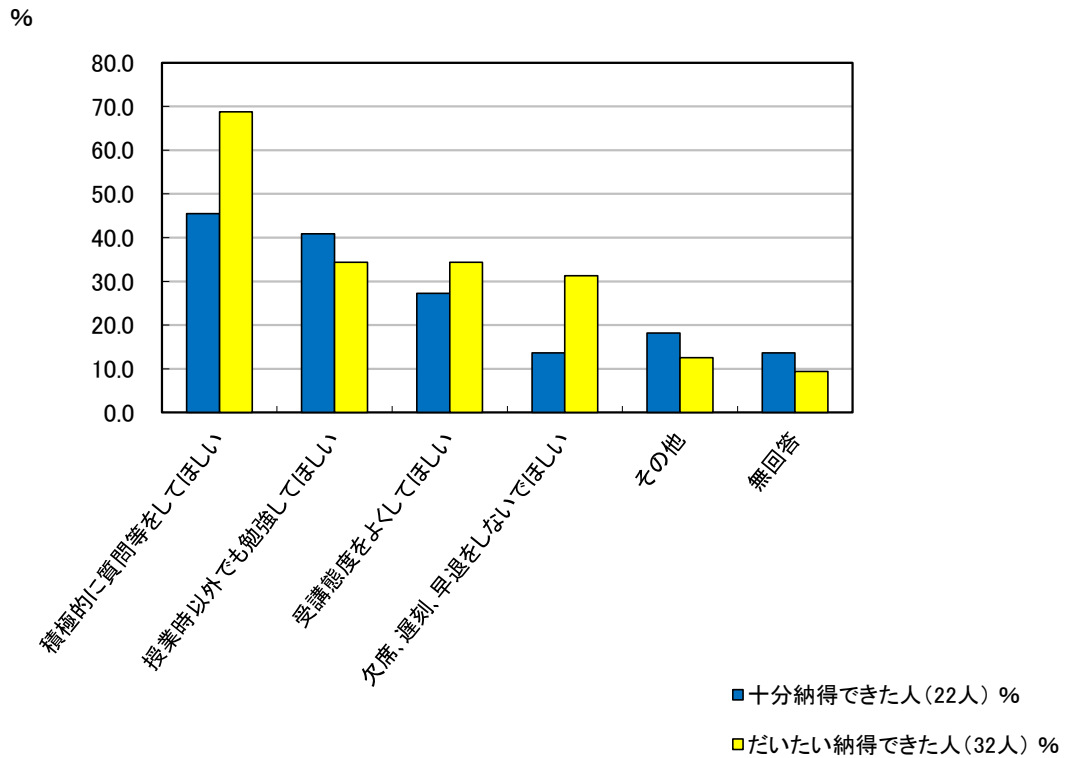
(1)



学生に対する要望	学生の評価に十分納得できた人	学生の評価にだいたい納得できた人	学生の評価にあまり納得できなかった人	合計 (人)
積極的に質問等をしてほしい	8	34	2	44
授業時以外でも勉強してほしい	9	23	2	34
受講態度をよくしてほしい	4	16	1	21
欠席、遅刻、早退をしないでほしい	9	11	0	20
その他	3	9	1	13
無回答	0	0	0	0
合計	33	93	6	132

設問 4-2 この評価結果を見て、学生に対する要望としてはどのようなことがありますか。
(複数回答可)

平成23年度 前期



学生に対する要望	十分納得できた人(22人)		だいたい納得できた人(32人)		合計 (人)
	人	%	人	%	
積極的に質問等をしてほしい	10	45.5	22	68.8	32
授業時以外でも勉強してほしい	9	40.9	11	34.4	20
受講態度をよくしてほしい	6	27.3	11	34.4	17
欠席、遅刻、早退をしないでほしい	3	13.6	10	31.3	13
その他	4	18.2	4	12.5	8
無回答	3	13.6	3	9.4	6

※1人当たり回答件数

1.6件 ↓

1.9件 ↓

注：「十分納得できた人」22人に対する割合

「だいたい納得できた人」32人に対する割合

II. 設問 1 から 6 に関する自由記述のまとめ

*科目および担当者が特定される記述は、文章を損ねない範囲で修正いたしました。
また、類似の記述については、まとめさせていただきましたことをご承知ください。

設問 1. 学生の評価を全体としてどう受けとめましたか。 (有効回答数 32 / 59)

1. 十分納得できる (有効回答数 14 / 22)

- ・授業内容のレベルと量に関しては、難しい技術で習得しにくく、又、宿題として自宅学習が多くなった。
- ・新規科目だったので、カリキュラムがまだ安定していない点が表れている。
- ・普段の授業から、昨年度よりも高い関心を持って学生が授業を受講していることを実感していましたが、総合満足度において、「満足」を感じた学生が9割以上いたという結果に、納得しております。
- ・怪我を心配しましたが大きな怪我もなく、学生のみんが楽しく授業が受けられたようでありました。美味しかったとの声も励みになりました。
- ・概ね、予想していたような結果であり、納得できた。
- ・学生に毎回、授業後の感想を提出してもらい、チェックしていたので納得ができています。
- ・非常に前向きに取り組み、雰囲気も良かったから。
- ・受講人数も15人と少数であったので、学生とのコミュニケーションも図れ、全体的に概ね良好な評価をしていただいた。特に、授業内容、話し方、興味・関心の項目については高い評価をいただけたように思います。
- ・良いところ、改善が必要なところ、学生の評価はほぼ適切だと思われまます。
- ・栄養士として職に就きたいとの意欲、興味が低い様子が見受けられる学生もおり、意欲的に取り組んだかの質問に対する結果も昨年より低いため、全体の結果は納得できます。また、今回の結果は、「どちらとも言えない」の回答があることが特徴的でした。節電のために試験日を早め、答案用紙の提出直後にアンケートを行ったことも、学生に戸惑いを与えたように思います。
- ・特に力を入れた点の評価が高く、また自由記入欄（に指示して書かせた）内容と一致していたため、納得できた。
- ・「私語の有無」、「計画通りの授業進行」以外の全ての項目で平均以上の評価だった。「この授業を受講してよかったかと思いませんか」について、「大変満足+やや満足」の合計が89.6%と、おおむね良好であった。学生からのコメントもありがたい内容ばかりだった。
- ・学生の評価は十分納得ができる。多くの学生は一生懸命勉強して、英語力を伸ばした。授業が楽しいということからみても、多くの学生が英語を好きになったと思う。学生の評価がこのことを示していると思う。
- ・宿題をしてこない学生がいるけれども、やる気を起こさせるように努力した結果としては納得がいくと思う。今後も学生を励ます方法を見つけていきたい。

2. だいたい納得できる (有効回答数 15 / 32)

- ・予想と同じであった。
- ・自由記述欄に、授業後の質問に対する私の答え方がきつかったという意見がありました。自分では、そのような対応をしたつもりはありませんでしたが、学生にとってそう受け取られたことは反省し、改善に努めたいと思います。
- ・実験と講義では内容が違うほうがよい。
- ・苦手、難しいという意見を多く聞いていたので、結果には納得できますが、後述するように、この現状は危機的状況と考えます。その他の科目はあまり問題ないと考えます。
- ・納得できる点は、学生たちが「難しい」と感じているところ。
- ・授業で意図したところが反映された結果となっていると思う。授業での態度はむしろ学生の方が反省していることがわかった。
- ・自身の態度等に関する自己評価は甘く、教員に対しての評価は厳しいという傾向は、相変わらずである。専門職として、実務に従事した際に役立つ内容を中心とした視点で授業を行っているが、学生の時点ではなかなか実感がわかないためであると思われる。
- ・どのアンケート用紙も過不足なくきちんと回答されていたので、考えて評価してくれたと感じました。わかりやすい授業をこころがけたので、その点を自由記入欄に書いてくれた学生が多く、うれしく思いました。
- ・学生に、授業内容について、尋ねたことがあるので、だいたい納得できました
- ・実験に慣れていないので、苦手意識を持つ学生が多いが、本年度の学生はそれを克服しようと努力する姿が見て取れました。
- ・特に、レベル量に対して評価が低くなっている点については、意識してハードルを高くしているため、そのような評価になることはやむを得ないと思われます。基礎を固める授業も必要ですが、困難を乗り越える授業も社会にとっては必要です。
- ・多くの学生は真面目に回答しているので、だいたい納得できる。
- ・予想していたより、かなり低かった
- ・内容について、1名を除きほとんど初めて学習する内容で、興味を持った部分と、復習がかなり必要な内容への戸惑いがあったものと思います。
- ・多くの学生は、真面目に答えていると思いますが、何も考えないで答えている学生もいます。たとえば、全ての項目に同じ数値で答えたり、出されていない質問(16、17)に答えたりする学生がいた。1から17まですべて4で答えた学生は、明らかに問題をちゃんと読んでいない。

3. あまり納得できない (有効回答数 3 / 3)

- ・私語が多かったにもかかわらず、自己評価が甘い。
- ・学生の総合満足度による評価と、定期試験に相当するレポートの当方の内容評価と比例していない。別様に言えば、満足度があるのであれば、相応のレポート作成があっていい、ということになる。
- ・学生は講義ごとに何度もアンケートを書かされて、面倒そうです。何か工夫の余地はあるか

もしれません。

設問2. 授業のレベルと量についての学生の評価はいかがでしたか。この評価について、先生の側から見たご意見をお書きください。

a. レベルについて (有効回答数 47 / 59)

- ・習得して欲しい技術を学生のレベルより高い部分におき、努力の結果として達成感を味わってもらうことを目標としている。
- ・今年の学生は真面目な人が多かったと思います。
- ・適切と思われる。
- ・個人差がありますが、授業のレベルは適当であったと思います。
- ・学生の理解度にあわせたので、評価は理解できる。
- ・多くの学生が「強くそう思う」「ややそう思う」と答えてくれていることから、レベルは適当であったと考えます。
- ・数学や語学の授業ではないので、難しいとの評価はどうか。
- ・授業では、レベルどころより基本を大切に考えています。
- ・専門的な内容で、今まで学習していないので、むずかしく感じているようである。
- ・一部の意欲的な学生は、大学らしい授業と非常に満足してくれているが、難しくやる気が出ないとする学生もいます。どちらの声に耳を傾けていくべきか難しいところです。
- ・やや高めに感じている学生が(3分の1位)いますが、ハイレベルの講義内容を維持し、より学生には判り易く指導することを目指しています。
- ・理解が得られたようで、納得できた。
- ・現況レベルを維持いたします。
- ・難しすぎる、やや難しすぎるとした学生が2割いて、どちらとも言えないとする学生を含めると半数を超えます。対策として毎回小テストを行い、少しずつ復習を繰り返すよう促したが、その意欲すらなかった学生が多くみられました。
- ・学生の評価はおおむね良好とおもわれるが、まだ上昇の余地はあるためさらに努力を重ねたい。
- ・大学の専門科目の中での講義内容よりは、若干、簡単にしているものの、昨年度の短大の講義内容よりは少し難しくしていました。しかし、8割程度の学生がレベルは適切だったと感じていたようなので、安心しました。
- ・特殊な科目で、下準備に時間がかかるので、あまり難しく下準備に時間のかかるものは選択しなかったのですが、少し難しかったのかな?と思います。
- ・適切であるとの評価と、なんとも言えないとの評価が同等であり、学生の熱意や出席率に比例していると思っている。
- ・平易で分かりやすい教科書を選んだつもりだが、それでも難しさを感じる学生が多かった。ただ、できる学生とそうでない学生との二極化が激しく、できる学生にとっては逆にものたりなかったようでもある。
- ・学生の授業に対しての関心度にも、バラつきがあり、様子をみながらグループ編成をこころ

が熱心に参加するように努めたが、積極性に欠け、コミュニケーションの取り方の授業展開になり、実技の奥深さに展開できなかつた。

- ・学生のほとんどが、レベルが「適切」とありました。良く理解できていたと思います。
- ・学生は満足してくれている。共通科目のため、普通クラスについては、レベルも適切であるが、トップクラスについては、より英語力を伸ばすように、レベルの高い内容を足していく必要性を感じる。
- ・「難しすぎた」「やや難しい」でした。二つの授業を担当していますが、試みとして、来年度の授業のひとつは思いっきりレベルを下げてみようかと検討しています。あと学生たちに興味を持ってもらう授業プログラムを考えています。学生の質も変化しているので、それ合わせて、ひとつの授業をこれまでとは異なるやり方で進めてみようかと思っています。
- ・生徒の学力には適正なレベルだったと思いますが、授業目標から考慮するともう少しレベルを上げたほうが良かったかと反省しています。
- ・授業の性格から、出来るだけ学生のこれまでの経験や生活に引き付けて、さらに映像を通して、理解しやすいように工夫してきたことが、学生の評価につながっていると思われます。
- ・不満のある学生がいなかったが、「ややそう思う」と答えた学生に、強いて言えばレベルが高いと感じたか低いと感じたかを答えてもらうと参考になると思う。
- ・わかりにくいところも、わかりやすく噛み砕いて教えたつもりです。
- ・レベルは相当高いと考えています。学生の理解を支援するために、実社会での経験や事例を盛り込む工夫に努めております。
- ・やや難しいと感じている学生が殆どで、量も多いと感じている学生が多いが、新しい知識や経験をするため当然感じられることと思う。狙った通りの結果となっているので、授業は有効だったのではないかと思う。
- ・資格取得にあたり専門領域のレベルは下げられません。また、「どちらとも言えない」と答えている学生にとって、難しかったのか、物足りなかったのかの意見をもらえると、授業に反映しやすいと思います。
- ・アンケート結果を踏まえて調整することにより、ここ数年レベルを適正なものにすることができていると思います。
- ・「あまりそう思わない」と回答した学生が10%程度いました。例年同じレベルで教えていますが、今までにない傾向です。学生の理解度が落ちているのでしょうか。
- ・社会で役立つ、通用する専門知識や技術を取得させることに主眼を置いているため、授業のレベル的には他学と比べれば、レベルは決して低くはないと思う。将来、専門職として就業したいと考える学生には必要な内容であると思っている。
- ・「どちらとも言えない」が延べ2名、「あまりそう思わない」が延べ2名（その2回答とも難易度を「やや難しい」につけていた）のほかは適切としていたので、全体としてはまずまず妥当なレベルであったと思われます。
- ・ここ2、3年でレベルをかなり下げた。そのことによってであろうか、適正との評価が多かった。このことが望ましいことであるかどうかは、私自身大いに疑問である。
- ・初年度の為、レベルが解らなかつたが、平均4.6だったので、適当だと思った。
- ・授業の難易度について、73%の学生が「適切」、「やや適切」と回答していました。「あまり適

切でない」と判断した学生の80%は「やや難しい」と判断でした。実験内容は、栄養士の現場で即応していかなければならない内容が大半なので、決してレベルの高いものではありませんが、化学構造式をみるだけで難しいと感じてしまっているのではないかと思います。

- ・レベルは、各大学全て同じにしています。そのため短大生にとっては少し高いですが、要はやる気があるかないかです。事実前年度は、某4年生大学と同じテーマでしたが、1年生の最高得点は実践の学生でした。本年度は、テーマを自分たちで決めた「恋愛心理学」としましたが、学問と実際とのギャップがより高く感じてしまった原因と思われます。
- ・クラスのレベルに合わせて調整しているので、概ねよい結果がみられた。
- ・昨年よりレベルを落とし、わかりやすく講義したつもりだったが、まだ難しかったかと思われる。
- ・授業内容のレベルについて、「強くそう思う+ややそう思う」の合計が88.0%であり、おおむね学生のレベルに合った授業を行えたように考える。
- ・科目特性上、中学高校までの授業のレベル差がはっきり現れるので、どこに焦点を当てるのかにより、学生は難しいと感じたり、簡単すぎると感じたりいろいろです。
- ・一般的に言えば、短大で行う講義内容としてのレベルは、普通だと思います。しっかり復習をしていた学生にとっては、適切であったと考えております。
- ・ほとんどの学生は、レベルは適切だと評価した。(43人中、4人は、やや難しいまたはやや易しいと評価した。)
- ・おおよそ、学生のレベルに授業のレベルを合わせている。
- ・学生のレベルを上げようと思う。教材は難しいところもあるが、知識を身につけ、良い就職をしようと思えば、学生は勉強しなければならない。
- ・宿題をしてこない学生がいることは困るけれど、一方で学生はクラス討論を一生懸命するので、どうも授業レベルの評価は難しいところがある。

b. 量について (有効回答数 48/59)

- ・今学期は、一番難関であった技術を減らしていたことが、震災の影響を受けずにすんだ。
- ・半期の科目としては、内容が多いと思います。
- ・適切と思われる。
- ・適当な量であったと思います。
- ・学生の理解度にあわせて上げたので、評価は理解できる。
- ・こちらも多く多くの学生が「強くそう思う」「ややそう思う」と答えてくれていることから、適当な量であったと考えます。
- ・90分×15回の講義では、それなりのボリュームになると思う。
- ・品数においては時間的な点からこの程度で良いのでは。
- ・減らす方向で考えたい。
- ・レベルと関連して、量的にも過多と感じる学生がいますが、ある程度は仕方ないと思います。
- ・理解が得られたようで、納得できた。
- ・現況の量を進行いたします。
- ・レベルや授業量が多かったため、学生の評価が低くなるかもしれないと思ったが、評価は高

かった。必ずしもレベルや量だけが評価に影響するわけではないことがわかった。

- ・同様に量的にも多いという回答が目立ちました。栄養士になるならまずは食品・生体の化合物の基本ぐらひは理解しなければならないという根本の心構えが足りないように思います。
- ・量的には一部不満もあるように感じられる。科目単位で見直していきたい。
- ・講義内容の量については、大半の学生は大丈夫なようでしたが、レベルを上げたこともあって、少し増えた内容量に大変だと感じた学生が2割程度いました。ただ、大学からの受講者が今年は多かったので、その点も配慮しての内容量にしました。
- ・手間がかかる分、もしかしたら品数が多かったのかもしれませんが。
- ・高い評価を戴いたが、これは当方の予定量を軽減したことに関連している。出席率の良い学生と、そうでない学生がいる場合、後者の学生の理解の促進を意図して、復習に割く時間数が多かったことに原因がある。
- ・授業内容の量の評価は、半数以上が、適切以上であった。実際、1回の授業でひとつの文法事項を押さえ、次週はその復習もしたうえでその週の内容に入っていたので、こちらはそれほど問題ないように思う。
- ・量は充分でした。
- ・学生のほとんどが量も「適切」とありました。今期はテキストを多いに活用しましたので、量が豊富でも学生には理解しやすかったのではないかと思います。
- ・学生は満足してくれている。共通科目のため、普通クラスについては、量も適切であるが、トップクラスについては、より英語力を伸ばすように、量も足す必要がある。
- ・「やや多い」でした。同上（「難しすぎた」「やや難しい」でした。二つの授業を担当していますが、試みとして、来年度の授業は学生たちに興味を持ってもらう授業プログラムを考えています。学生の質も変化しているので、それ合わせて、ひとつの授業をこれまでとは異なるやり方で進めてみようかと思っています。）
- ・少し多すぎたかもしれません。
- ・この質問項目「量」については、何をもって学生は評価するのか、その一方で教員として授業として教えなければならない事項・内容を考えますと、やや疑問に思います。
- ・不満のある学生がいなかったが、「ややそう思う」と答えた学生に強いて言えばレベルが高いと感じたか低いと感じたかを答えてもらおうと参考になると思う。
- ・教科書のなかで、重要と考えるところだけを抜き出して授業したつもりなので、これ以上量を減らすことは難しいです。
- ・量的には、相当多い方と考えています。そこで、関連科目ご担当の先生と話し合い、重複する内容を分担するなどの対応をとっています。
- ・量も多いと感じている学生が多いが、新しい知識や経験をするため当然感じられることと思う。狙った通りの結果となっているので、授業は有効だったのではないかと思う。
- ・「どちらとも言えない」と答えている学生は、適切な程度が分からなくて、答えづらく選択するのでしょうか。「自分にとって多過ぎる、少な過ぎる」を答えてもらえると、授業に反映しやすいと思います。
- ・今年は節電対応で、授業回数が減ったので予定の分量をこなすのが大変でした。来年からはもとに戻ることを期待しています。

- ・「あまりそう思わない」と回答した学生が10%程度いました。分かりやすく教えるにはどうしたらよいか。教え方を見直す必要を感じます。
- ・専門分野に関して広く捉えている科目のため、与えられた時間を有効に活用し出来るだけのことを伝えたいと思っている。また、演習科目では、作業の積み上げとともに進行しているため、取り組み姿勢によっては期日直前での作業量が多くなってしまう。
- ・「実習を多くこなして実力をつけていく」という性質の科目なので、量が多いと感じる学生がいるのでは？と予想していましたが、「どちらとも言えない」が延べ5名だけで、あとはみな適切としていました。安心しました。
- ・近年15回授業でとりあつかう事項を減らした。そのことによってであろうか、適正との評価が多かった。
- ・教員としても量の多さを感じていたが、学生からも「多い」との回答があった。
- ・初年度の為、量が解らなかったが、平均4.6だったので、適当だと思う。
- ・学生の評価として、約75%の学生が「適切」、「やや適切」と回答していました。「あまり適切でない」と回答した約6%の学生は、量が「やや多い」と感じているようですが、2コマ続きで実験を行う大学の3分の2位しか行っていないので頑張っ欲しいと思います。
- ・量についても少々多めとなっています。自分の限界を超えた時に、いかに要領よく作業を行うかということもサブテーマとなっています。
- ・適切であるという回答が最も多くみられた。
- ・昨年と同じ程度では、今年の学生には多かったのか？
- ・授業内容の量については、「強くそう思う+ややそう思う」の合計が88.0%であり、おおむね適切な量の授業を行えたように考える。
- ・多いと感じても、実技中心の科目は使わないと身につかないので、ある程度の量を課すことは仕方ないと思っています。
- ・量についても普通であるとかんがえております。これも、いかに自宅における復習の時間を取れたかで感じるところが異なっているのではないのでしょうか。
- ・ほとんどの学生は、量は適切だと評価した。(43人中、2人は、多すぎたまたはやや少ないと評価した。)
- ・おおよそ、授業の量は、学生が宿題をこなせる範囲にしている。
- ・学生は多くの授業を受けているので、私は量を多くしようとは考えていない。しかし、学生のなかには、量が多すぎると感じている者もいるようだ。
- ・クラスごとに少しずつ違うが、講義、演習とも同じレベルで同じ量を課している。授業中はよく考えるように、課外では学生生活を楽しむようにと言っている。

設問3. この評価結果を踏まえて、今後の授業で特に改善を図りたい点はどんなことですか。

(有効回答数 13/59)

- ・休んだ学生にすべての教材を渡していましたが、そのなかでもとくに「これだけでもやるように」といった指導をしていく必要があるかな、と感じました。
- ・関連科目とのリンクを徹底し、授業で扱う内容を整理したい。
- ・学生にとって、将来役に立つと思われるメールマナー、楽しむことを意図している心理テスト

などの時間を少なめにして、的をしぼって授業を進める方向に転換した方が学生にとって良い気がしています。

- ・一方通行の講義では、学生が理解しているかどうかわからないので、参加型の講義をさらに多くする必要があるかもしれない。
- ・「計画通りの授業進行」が平均以下の評価だったことは、「東日本大震災」を受けて、急遽地震への備えに関する授業を追加したことが主因と思われる。今後も大きな余震が予想されることから、はじめから地震対策を盛り込んだシラバスの内容・分量配分を検討したい。
- ・教員の話し方が明瞭で聞き取りやすかったか、という質問での評価結果が他より低くなっていました。今回、受講者数が100名を越す授業で、当初教室の後ろではかなり私語があり、授業内での小アンケートでも、「私語がうるさくて先生の声が聞こえない」「指定席にしてはどうか」等の意見が出ました。はじめは、学生を信頼したいという気持ちがあり、注意をしながらそのまま授業を続けていましたが、どうしてもおしゃべりをしてしまう学生もいて、前期半ばで指定席としました。すると、とたんに静かになって、前期終了間近の小アンケートでは、「はじめはおしゃべりをしてしまったが、指定席になって授業に集中するようになると、内容が面白くなった」との意見も出て、はじめから指定席にすべきだったかも知れないと感じました。

また、マイクを使用しての授業でしたが、映像の途中で解説を入れると聞こえないという学生からの指摘もあったので、今後注意したいと思っています。

- ・学生がわからないところはどこなのかをまずは認識し、その対策をとらないと大変だというような意識改革を目指して検討します。
- ・全てのアンケート結果が、総じて良い結果でしたので、安心しましたが、私語のまったくない授業にしたいと思います。確かに大切な授業のひとつというのは重々承知しておりますが、楽しくなければ美味しい物はできませんし知識も身に付かないと思います。
- ・教室（座学）とコンピュータ室での実習を半分ずつにして、授業を組み立て直す必要性を感じた。
- ・この2年程で学生の質、意欲が低下していると感じる。高校の授業のつもりでやらないと、理解されたいので改善が難しい。
- ・ビデオの頭出しに苦労しました。非常勤講師室のビデオは故障中、ビデオは日コミ研究室、リモコンは教務と授業前はオリエンテーリングのようです。その結果、ビデオの頭出しが間に合わず、次回に送るといふこともしばしばありました。ちょっと疲れました。
- ・一生懸命勉強すれば就職に有利であることを教えたい。真の指導者は読書家である。教員は学生にたくさんの本を読むように勧めましょう。
- ・教員間のコミュニケーションを探求することは意義のあることである。また、社会的にも、教育的にも地域社会との関係を築くことは学校のためになる。

設問4. この評価を見て、学生に対する要望としてはどんなことがありますか。

(有効回答数 12/59)

- ・大変素直で、しっかり躰けられた方々ばかりで要望などございません。お世話になりました。
- ・好奇心や知識への意欲を持ってほしい。
- ・出席するのは大事なことですが、出席していても、他の教科の予習（宿題？）をしているのは

授業に参加していることにはなりません。(そういう学生さんが何人かいました。)授業中もノートをとるなど積極的に授業に参加してほしいと思います。

- 意見、感想をたずねると、おし黙ってしまったり、解りませんと言ってすませようとしたりする学生がいて対応に苦慮した。
- 内容が予告された極めて簡単な小テストの勉強すら投げ出すようでは、学生として情けないということを認識してほしい。
- manaba を昨年度から活用しておりますが、何度言っても、そして授業に関する重要な事項を知らせてあっても、結局、一度も manaba を使用しなかった学生が数名いるので、指示があったら、manaba を活用していただきたい。
- 2年生ということは、1年生の時に実習を行っていると思うのですが、1年生の実習の時、もう少し教師の方々のお話を聞き、知識・技術を得て欲しいです。もったいないです。
- (「その他」ではないが記入) 欠席・遅刻・早退が多いわけではないが、実験の授業で体験することで理解が進むと思われるため、なるべく全員がすべての授業に出席するよう願う。
- 基礎学力としてすでに身につけて欲しい計算方法などの、理解不足を説明していますが、本来の講座内容以外で時間をとられるのが惜しいと考えられます。学生自身が理解不足に気付いた時点で、授業以外でも学んでもらえるとよいと思います。
- 実践の学生の場合は、他大学と比較すると、宿題を嫌う傾向にあり、宿題を果たすと授業を取りやめる学生が多くなっています。大学は、教わるのではなく、自分自身で勉強していかなければいけないことを自覚してほしいと思います。
- 授業中に、他の授業の宿題をしている学生がいる。このことは、私の授業だけのことではないが、私としては良い環境で授業ができるようにいろいろと努力をしています。
- 学生が発表しているときは、他の学生はしっかりと聞くこと、これはマナーです。

設問 5. 授業改善に関することで、学科や短大に要望があれば具体的にお書きください。

a. ハード面(情報機器、用具、備品など)について (有効回答数 20/59)

- ホワイトボード使用の教室では、マーカーの補充などが不十分である。
- 板書が多いのでチョークの粉塵に悩まされています。なんとかありませんでしょうか。
- 購入して頂きたい、用具がある。
- 自宅から接続できる Web フォルダがあると助かります。また、持ち込みノートパソコンを無線が困難であれば、有線でつながれるようにしてもらいたいです。
- ホワイトボード用マーカーでは、色が薄く、後席からでは判読できない場合があることに気がついた。現在使用しているよりさらに太字のマーカーが必要です。
- 非常勤講師用のコピー機が混み合う事が多く、他にも利用できるコピー機があれば利用方法など、ご教授頂きたい。非常勤講師控え室の担当職員各位にはいつも親身にサポート頂き、この場をお借りしお礼申し上げます。
- 実習室の排水がつまっており、学生からどうにかしてほしいとの要望がある。
- マイクはハンドマイクのみでなく、ピンマイクもあると良い(両手が使える)。
- 今回の講義では、プロジェクターの映りが悪く(字がぶれる)、DVD デッキが故障しており、DVD

を読み込まないなどの情報機器のトラブルがあったのですが、大学の方が即座に対応して下さいだったので、授業を順調に進めることができました。深く感謝しております。

- ・ 自宅で焼いた DVD を使用できません。
- ・ パソコンにスピーカーが付いていなかったが、それがあるといいです。
- ・ カラーコピー機を備えてほしいです。
- ・ 十分に満足できております。
- ・ 多少実験の設備が新しくなるとよいとは感じる。
- ・ 相変わらず、ホワイトボードの文字が見つらいとの声を多く聞きます。せめて黒のペンだけでも講義室に多数備え付けておいてもらえればと強く思います。
- ・ 毎年記していることですが、実習室の排水、避難口の確保など、衛生、安全面の改善が必要です。(短大の移転時まで難問のようですが……。)
- ・ DVD、VHS を使用することが多いのですが、準備のために副手さんの手をわずらわせることになります。副手さんに頼ることなく、自由に機器を使用することはできないでしょうか。
- ・ 大型 TV が設置されて大変ありがたい。
- ・ ビデオプロジェクター等、一部見えにくいものがあります。
- ・ 学内の設備は良いと思う。

b. ソフト面等について (有効回答数 11 / 59)

- ・ できましたら、氏名と顔写真を実験室にご用意いただけますと助かります。
- ・ 教員側の授業時の学生への対応の仕方、話し方、教材の活用方法などについての FD 活動をする必要があるのではないかと思う。
- ・ 最初に「化学」について意識を尋ねたところ、高校時代化学をまともに学習してこない、あるいは化学は苦手とする学生が大半でした。現状の受験生状況ではいたしかたないとは思いますが、出来れば化学を入学の必須条件にしていきたい。
- ・ 今年度も講師室の方にいろいろとお世話になり、試験日に病気で欠席し、課題レポートを提出できなかった学生と教員との間の連絡を取り持って頂いたりなどしました。大変ありがとうございました。
- ・ パソコンの OS のアップデートをしていなかった。「管理者」の資格がないとできず、セキュリティ上も危険なのでしてください。
- ・ PC に DVD-VR 対応の DVD 再生ソフトをインストールしてもらえると助かります。
- ・ パソコン画面をプロジェクターで映す等 IT の技術は授業に有効。不自由は感じていないが、今後も使用されているソフトが更新され、ある程度の水準を保たれるとよいと思う。
- ・ 授業の前の機器の準備を副手さんが共に行ってくれますので、助かります。授業前に機器のトラブル発生がないかの確認もして下さるので安心できます。
- ・ 資格の一つとして、硬筆検定を全員が受験できる環境がほしい。
- ・ 教育者は役職にかかわらず個人として尊敬されているから、学生などに対しては基本的なマナーを伝えや敬意の気持ちを示せるようにしたい。そして、教員は学びの場の大切さを優先して、教員としての役割に関して謙虚でありたい。
- ・ マーケティング論と経済学の科目を設けたらどうでしょう。

設問6. 学生アンケートの内容、実施方法について、ご意見やご要望があれば具体的にお書きください。 (有効回答数 22/59)

- ・予習・復習をしたかどうかの質問事項を加えていただければ幸いです。
- ・授業に期待していたことなどを質問に入れて、それに対する満足度を聞いて欲しい。学生の求めるものにどのくらい答えられたのかは、授業評価として重要だと思う。また、結果として期待が「ない」が多かったら、それを改善した方がよい。
- ・設問1にも関連してきますが、自由記述に否定的な意見を書いた学生さんは、「授業の進め方」に関しても、すべてを「そう思わない」という評価にするというように、かなり教員に対する感情に左右されたアンケート結果になっていると思います。学生の教員に対する感情が授業の評価に影響を与えるのではない形のアンケートは不可能でしょうか？それと「講義概要などの授業計画にそって、授業が進められたか」という質問ですが、授業概要の授業計画は、授業がスタートする前に計画したもので、学生のレベルなどに合わせて軌道修正されていくものなので、この質問は意味がないと（個人的には）考えます。
- ・設問3の項目はいつも全学科の平均より低いので、どう対応しようかと毎日苦勞するのですが、学生に合わせようとすると、どうしても授業計画に添わないものになってしまいます。でも、学生の満足度がそこそこであれば良いかと、今回は結果をつきはなして見えています。
- ・「この授業科目についての教員の適正（習熟度・実力など）」を問う項目がないのが気になります。
- ・今後、少しでも学生と教員間の双方向的なやりとりができるようなアンケート内容や方法になればよいなと思っております。
- ・アンケートは、自身の授業を向上させ、モチベーションを上げるために、大変参考になります。
- ・アンケート用紙が大きいのに驚きました。今までは、この大学の3分の1でした。
- ・他に書くところがありませんので「教員アンケート」についての意見を記させていただきます。ご参考にして頂けたら幸いです。開講時の受講学生数を項目として追加していただけますか。科目担当教員の感じ方に学生数の影響があるのではと思慮されます。
- ・今回も前回に引き続き、全体平均が高い水準で保たれているように感じる。アンケート集計結果が活用されているのではないと思う。自身でも毎回の授業で簡単なアンケートを書いてもらっているが、このアンケートでは別の面で授業の成果がわかるので有効な手段なのではないかと感じた。
- ・学生が自由記入欄に感想を書いてくれるのは、嬉しく思います。今後の授業の参考として活かしたいと思います。
- ・先にアンケート本紙を送付していただいてから、メールをいただいた方が、うっかり忘れる可能性が下がるのではないかと思います。
- ・昨年も感じましたが、実施されるアンケート評価は、学生たちの学ぼうとする姿勢の有無によって異なる感じがいたします。
- ・授業評価は、無記名式ではなく、記名式が良いと思われれます。無記名の方が自然な意見がでるようにも思われれますが、無責任な意見がどこの大学でも多くなっています。そのため、学生に

としては、楽で面白い授業の内容が高く、社会に必要とされている内容（グループ学習等）を取り入れると低く評価されてしまう傾向にあります。また、単純な選択式よりも自由回答を取り入れた方が教員にとっても役に立つ気がします。

- 学生からの要望を具体的に聞くことができるようにしていただきたい。
- 本アンケートは教員本人の振り返り、授業に対する学生の受け止め方確認などで大変有効と考える。今後もぜひ継続いただきたい。
- 形式はそのまま構いませんが、記名式にすることを以前より希望しています。自分の回答に責任を持たせる意味でも、記名式にすることにより、単なる好き嫌いや批判的な表現を避けて、記入するようになるのではないかと思うからです。
- 今回は14回目の講義で定期試験を実施し、15回目の講義で最終講義とアンケートを実施しましたが、そのため欠席者が多くでてしまったようです。アンケートの実施日を統一して、定期試験の前に行うようにした方が良いのではないかとも思いました。次回私が実施するときは、学内での統一実施が行われるのであればそれに従いますが、仮に統一されない場合でも、早めに実施したいと考えています。
- 継続的調査のために、質問項目の変更はしないとのことですが、設問3の選択肢など長年授業する中ですでにどれも実施しています。回答選択肢や設問内容を増すなどはしてもよいのではないのでしょうか。
- 学生からのフィードバックを得ようとベストを尽くしているが、学生の反応はよろしくない。しかし、学生にとって、将来役立つことなので、努力をしてほしい。
- 十分に時間を取って書いてくれた学生の意見には、良し悪しは別としても納得するものがあります。しかし、意見も書かないで、マーク欄を上から下へまっすぐに塗りつぶしただけの回答は納得できません。
- アンケートの改善に関して。択一式を止めて、記述式に改める。学生へのインタビューを加える。そして、学期の途中にフィードバックの機会を設ければよい。

《教員アンケートによるご意見》

2011年度 前期分

希 望 項 目	回 答
<p>①ホワイトボード使用の教室では、マーカーの補充が不十分である。 ②ホワイトボード用マーカーは、後席から判読できない場合があるので、太字のものがが必要です。 ③ホワイトボードの文字が見づらいとの声が多くあり、黒色マーカーを多く備えてほしい。</p>	<p>用務の方が点検・交換してくださっています。教務担当でも随時、確認しております。毎時間新品を使うということではできませんのでご了承ください。(教務担当)</p>
<p>④自宅から接続できるWebフォルダがあると助かります。持ち込みノートパソコンを無線LANか有線でつながるようにしてもらいたい。</p>	<p>本学では教育機関向けのSNSであるmanaba courseを提供しております。そちらをご利用ください。利用について不明な点があれば、コンピュータ準備室までお問い合わせください。 ノートパソコンを有線で繋ぐことは可能です。ほとんどの教室でLAN接続が可能ですが、K301、K302、Ⅲ106、I 101、I 103、I 104では利用できませんので、上記以外のLANが設置されている教室への変更が可能です。お申し出ください。(教務担当)</p>
<p>⑤非常勤講師室のコピー機が混み合うことが多く、他に利用できるコピー機があれば、利用方法などを教えていただきたい。 ⑥カラーコピー機を備えてほしい。</p>	<p>申し訳ありませんが、利用できるコピー機は非常勤講師室のみです。早めにご出校いただくなど、込み合う時間帯を避けてご利用ください。 カラーでの印刷をご希望の際は、早めに教務担当にご相談ください。(教務担当)</p>
<p>⑦実習室の排水がつまっており、学生から改善の要望がある。 ⑧毎年記していることですが、実習室の排水、避難口の確保など、衛生、安全面の改善が必要です。(短大の移転時までは難問のようですが。)</p>	<p>平成26年度の二拠点化に伴い、短期大学では修理にかかる費用はある程度認められていますが、新たに購入・改善する費用は学園から認められていないのが現状です。緊急を要するものであれば、庶務担当までご連絡ください。修繕するように致します。</p>
<p>⑨マイクはハンドマイクのみでなく、ピンマイク(ワイヤレスマイク)もあると良い。</p>	<p>ワイヤレスマイク(ハンドマイク)は、I 201(120名収容)、I 304(120名収容)に充電式が設置してあります。ピンマイクは、Ⅲ103(108名収容)、Ⅲ104(211名収容)、Ⅲ105(108名収容)、H301(208名収容)、H302(207名収容)、H401(309名収容)、H402(195名収容)で使用できるものがありますが、ご使用になる場合は、事務室からお持ち頂くこととなります。上記の教室が空いている場合は、教室の変更が可能ですので、お申し出ください。(教務担当)</p>
<p>⑩DVD、VHSを使用することが多いのですが、副手さんに頼ることなく、自由に機器を使用することはできないでしょうか。</p>	<p>先生ご自身でご準備いただくことも可能です。教務担当にAVキーとリモコンがございますので、授業前に教務担当まで取りにいらしてください。(教務担当)</p>
<p>⑪できましたら、氏名と顔写真を実験室にご用意いただけると助かります。</p>	<p>個人情報の流出には十分注意をしています。学科にご相談ください。(教務担当)</p>

《教員アンケートによるご意見》

2011年度 前期分

希 望 項 目	回 答
<p>⑫ 予習・復習をしたかどうかの質問事項を加えていただければ幸いです。 ⑬ (学生が) 授業に期待していたことを質問に入れて、それに対する満足度を聞いてほしい。 ⑭ 「この授業科目についての教員の適正(習熟度・実力など)を問う項目がないのが気になります。</p>	<p>これらの項目は設問16及び17に「授業別特別設問」項目が用意されていますので、教室内において各教員より設問を設定し、学生に指示してください。(自己評価委員会)</p>
<p>⑮ 授業評価は、無記名式でなく、記名式がよいと思います。</p>	<p>授業評価アンケートは、記入した学生個人が特定できないようにとの趣旨で実施されております。記名式にしますと、学生に心理的負担がかかり、本人の考えている適切な選択肢を記入できないことや自由記述欄への批判的記入もできないことなどを配慮しています。(自己評価委員会)</p>
<p>⑯ 単純な選択式よりも、自由回答を取り入れた方が教員にとっても役立ちます。 ⑰ 学生の要望を具体的に聞くことができるようにしていただきたい。</p>	<p>授業評価アンケートには、学生が授業への感想や要望などを自由に書けるように「自由記入欄」が設けられています。アンケート実施時に、この欄に書くように学生に指示してください。(自己評価委員会)</p>
<p>⑱ 択一式をやめて、記述式に改める。また、学生へのインタビューを加える。学期の途中にフィードバックの機会を設ける。 ⑲ 学生と教員間の双方向的なやりとりができるようなアンケート内容や方法になれば良いと思う。</p>	<p>授業評価アンケートは、一定の質問項目により、学期の終わりに統一的に実施するものであり、細かい対応については困難と考えています。 授業担当者ご自身で、授業の中で学生との双方向のやりとり、そのフィードバックを実施していただきたいと考えます。(自己評価委員会)</p>

「学生による授業評価」に関する教員アンケート

自己評価委員会

2011年度前期授業アンケートについて、以下のアンケート項目にお答えください。

1. 学生の評価を全体としてどう受けとめましたか。（1つ選んでください）

【回答欄】

1. 十分納得できる
2. だいたい納得できる
3. あまり納得できない

- ・ 納得できる点、あるいは納得できない点があれば具体的にお書きください。

2. 授業のレベルと量についての学生の評価はいかがでしたか。この評価について、先生の側から見たご意見があればお書きください。

- a. レベルについて

- b. 量について

3. この評価結果を踏まえて、今後の授業で特に改善を図りたい点があれば下記からお選びください。（複数回答可）

【回答欄】

--	--	--	--	--

1. 教科書の選び方、授業時における使い方を工夫する。
2. シラバスの書き方を工夫し、シラバスに添った授業を行う。
3. 教室での話し方、板書の仕方などを工夫する。
4. 授業時に配付する資料を充実させる。
5. ビデオや映像資料などの視聴覚教材やマルチメディアの活用を図る。
6. 学生との質疑応答など、教室内のコミュニケーションをよくする。
7. 一方的な講義でなく学生の参画や体験学習にも力を入れる。
8. その他。

「その他」をお選びの場合には、改善を図りたいと考えている点をお書きください。

4. この評価結果を見て、学生に対する要望としてはどんなことがありますか。（複数回答可）

【回答欄】

--	--	--	--	--

1. 私語を慎むなど受講態度をよくしてほしい。
2. もっと積極的に質問をしたり、授業後でも分からないことがあれば聞いてほしい。
3. 教科書や教室で指示した参考書を読むなど、授業時以外でも勉強してほしい。
4. 欠席はもちろん、遅刻、早退をしないように努力してほしい。
5. その他。

「その他」をお選びの場合には、その要望をお書きください。

--

5. 授業改善に関する事で、学校への要望があれば具体的にお書きください。

a. ハード面（情報機器、用具、備品など）について

--

b. ソフト面等について

--

6. 学生アンケートの内容、実施方法について、ご意見やご要望があれば具体的にお書きください。

--

ご協力ありがとうございました。

集計の結果は、自己評価委員会で報告書にまとめた上、Web 上でも公表する予定です。
なお、自由記述に関しては、必要に応じて字句や表現を修正させていただく場合があります。

提出締切は、10月15日（土）です。

授業に関するアンケート

実践女子短期大学

このアンケートは、学生の皆さんの意見を受けとめて、短大の授業をより良くしていくために行うものです。アンケートは無記名で行い、調査結果もデータとして統計処理します。誰が書いた回答かわかりませんし、授業の成績とも関係しません。あなたの思っていること、感じていることを正直に答えてください。

良いマーク 悪いマーク

所属学科	<input type="radio"/> 日本語コミュニケーション学科 <input type="radio"/> 生活福祉学科 <input type="radio"/> 英語コミュニケーション学科 <input type="radio"/> 食物栄養学科 <input type="radio"/> 実践女子大学 <input type="radio"/> その他	授業名	
在籍学年	<input type="radio"/> 1年生 <input type="radio"/> 2年生 <input type="radio"/> 単位互換生 <input type="radio"/> その他	担当教員名	

評 価 項 目		マ ー ク 欄					
あなた自身の授業の取り組みについて	1	あなたはこの授業中に授業と関係ない会話をしたことがありますか	全く しなかった (5)	ごく まれにした (4)	時々した (3)	かなりした (2)	毎回した (1)
	2	あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか	そう思う (5)	やや そう思う (4)	どちらとも 言えない (3)	あまり そう思わない (2)	そう 思わない (1)

教員の授業の進め方について	3	講義概要などの授業計画にそって、授業は進められましたか	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→
	4	授業内容はあなたにとってわかりやすく工夫されて いましたか	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→
	5	教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすいものでしたか	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→
	6	この授業の教科書・資料や視聴覚教材の使用は 適切でしたか	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→
	7	質問に対する教員の対応は適切でしたか	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→
	8	総合的に考えて、教員は熱心に授業を進めましたか	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→

授業の内容について	9	授業内容のレベルはあなたにとって適切でしたか	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→
	10	9で(2)か(1)にマークした人は次の質問に教えてください 授業内容の難易度はあなたにとってどうでしたか		難し過ぎた (5)	やや難しい (4)		やや易しい (2)	易し過ぎた (1)	
	11	授業内容の量はあなたにとって適切でしたか	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→
	12	11で(2)か(1)にマークした人は次の質問に教えてください 授業内容の量はあなたにとってどうでしたか		多過ぎた (5)	やや多い (4)		やや少ない (2)	少な過ぎた (1)	
	13	この授業を受講して、あなたの興味や関心はふえましたか	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→
	14	この授業を受講して、新しい知識あるいは技術を 得ることができましたか	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→
15	総合的に考えて、この授業を受講してよかったです と思いますか	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→	

授業別の特別設問	16	この項目は、教員から特に指示された場合のみ回答してください	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→
	17	この項目は、教員から特に指示された場合のみ回答してください	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→

自由記入欄（授業への感想や要望などを自由に書いてください。裏面使用可）

©2011 年度実践女子短期大学自己評価委員会

委員長 : 松尾昇治 (教職・図書館学課程)

副委員長 : 加藤チイ (食物栄養学科)

委員 : 高瀬真理子 (日本語コミュニケーション学科)

スティーブン・F・マーティン (英語コミュニケーション学科)

井上千枝子 (生活福祉学科)

庶務 : 海野政司、寺師香織